



学校だより

No.10

大田区人権教育研究協力校
平成30年12月3日
大田区立糎谷中学校
校長 北村 隆

自ら学び考えることができる生徒 感性豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康な生徒

壁を乗り越えて

12月に入り、今学期もはやいもので3週間を残すほどになりました。今週の火曜日から、三者面談が始まります。特に3年生にとっては、中学校卒業後の進路を決める大切な面談です。1,2年生にとっては、まだはっきりとした進路の目標をもっている人は少ないかも知れませんが、上級学校訪問や職場体験学習などを通して進路に向けた方向性を徐々に高めていってほしいと思います。

3年生にとっては間近に迫った「進路という壁」を、自分自身の力で乗り越えなくてはなりません。そのためには、先生方の指導・助言や保護者のアドバイスを真摯に受け止めながら、結論は自分自身で決めるという姿勢が大切です。

ここで、「荒海の中へ船出する君」という題名で書かれ文章を紹介します。

ついてないよな。「大変な時代に大人になってしまったもんだ。」景気はどんどん悪くなる。勤め先が倒産した。採用の内定を取り消された。このような話を聞くと、自分はどうかと不安やあせりも募るだろう。これから先に待っているのは、少子高齢化の社会だ。多くのお年寄りを、少ない働き手で支えなければならない。

目を世界に転じれば、グローバル化の波が、様々な格差を生んできた。また、地球温暖化も心配である。一筋縄ではいかない世の中だからこそ、あきらめず、逃げ出さずに、現実と向き合って欲しい。時代を変えるのは若者の力だ。若者たちは過去を知らない。経験もあまりない。だからこそ、今までのやり方にとらわれない自由な発想ができる。新たな視点は、思いもよらぬ解決へのカギとなることもある。傍観者のままでいると、若者が抱える問題は置き去りにされかねない。

荒海に乗り出す船は、若いこぎ手を求めている。

この文章を読んで、みなさんはどう考えたでしょうか。これは、成人式を前にした若者へのメッセージなのです。3年生は、5年後には成人を迎えます。経済や地球環境も、今より厳しい世界になるかも知れません。

この文章の最後に、若いこぎ手を求めているとありますが、単に年齢が若いだけの人を求めているのでしょうか。私は、それぞれの時代(年齢)を主体的に、また迷いながらも困難を乗り越え、しっかりと生きてきた人を求めているのだと思います。例えば、中学時代に何に取り組んできたのか、また、様々な課題を乗り越えるためにどう対処したのか(人に頼るのではなく、自分自身で判断し、決断し、実行してきたか)などです。

現在3年生は、校長・副校長先生との面談練習を行っていますが、今一度、中学時代に精一杯取り組んだことや頑張ったことは何かを振り返ってみるのが大切です。これからが本番に向けたラストスパートになります。精一杯の努力を重ね、「進路を決定するという壁」を自分自身の力で乗り越えていってください。期待しています。

○12月の主な行事

- ・2日(日)「人権作文」発表会
2年砂金さんが羽田空港「江戸舞台」で発表します
 - ・3日(月)学年朝礼・専門委員会・生徒評議会
 - ・4日(火)三者面談(始)・生命尊重週間(～10日)
1,2年(～12日まで)3年(～14日まで)
人権啓発作品展(～11日まで/池上会館にて)
 - ・5日(水)職員会議・PTA常置委員会 18:30～
 - ・10日(月)全校朝礼・安全指導
- 学校評価：保護者アンケートは14日(金)まで**
- ・17日(月)生徒会朝礼
 - ・19日(水)地域清掃(7:40集合)・職員会議
 - ・20日(木)避難訓練
 - ・21日(金)大掃除(ジャージ登校)
 - ・25日(火)終業式・中学生意見交換会
 - ・26日(水)冬季休業日(始)

※ 始業式は1月8日(火)

○大田区立中学校 連合学芸会（音楽・英語・演劇・ダンス）

11月6日（火）音楽の部が大田区民ホール「アプリコ」で、7日（水）演劇の部が大田区民プラザで、9日（金）英語の部が大田文化の森ホールと創作ダンス発表会が大田区民プラザで行われました。音楽の部では、合唱コンクールで最優秀賞に輝いた3年A組の生徒が素晴らしい合唱を披露してくれました。英語の部では、2年生の松下知里さんと森田晴香さんが堂々とした英語スピーチしてくれました。演劇の部では、演劇部の生徒が「不思議な館」を熱演してくれました。そして、創作ダンスでは1年A組と2年D組と3年A組の女子生徒が、息の合った演技を披露し会場から大きな拍手をいただきました。



○12月10日は世界人権デー ～大切にされていると実感できる学校にしよう～

近年、明らかに人権侵害と考えることが見聞されます。例えば、ある民族を差別し大きな社会問題になっていることや、病気（HIV／ハンセン病など）に対する差別や偏見、障害者や路上生活者に対する偏見、高齢者や子供に対する虐待や育児放棄などが現実存在します。

特に昨今、インターネットによるいじめが増加し、不登校や自殺にまで追い詰められた事例が増えています。人間として決して許されることではありません。このようなことが起きる背景には、人権に関する知識や理解の不足、相手のことを考えないで自己主張をし過ぎるあまり、他の人の生きる権利を踏みにじていることや傷つけていることに気づかないからだと思います。

皆さんは、日常生活の中で、知らず知らずのうちに他人を傷つけてしまうことがないでしょうか。そのために大切なことは、

- ・様々な人権問題について正しく理解すること。
- ・身近にある人権問題に気づき、自分のこととして考え、行動すること。
- ・決して傍観者にはならないこと。（見て見ぬふりをしない）

12月4日～10日は
人権週間

そして、日常生活の中で「人権感覚」を磨いてほしいのです。人権を尊重し大切にするためには、相手の立場に自分を置き換えて考え、悩みや苦しみ・悲しみや願いを理解し一歩でも近づくことが重要です。いじめがなく、皆さん一人ひとりが大切にされていると実感できる学校にしていきたいと思います。